



学校行事（運動会・学習発表会）で大事にしたいこと



清音小学校以前に勤めたいくつかの学校で行事の後、保護者のこんな声をよく耳にしました。

「家でも毎日、運動会のダンスの練習をしていました。当日も友達と楽しく笑顔で踊っていてうれしかったです。」

「今年の運動会のダンスは、子どもは楽しそうにしてるけど、去年より見応えがないですね。」

「学習発表会でどの子どもも真剣な顔で演奏していたのが、印象的でした。他の楽器の友達とリズムと音を合わせている様子に成長を感じました。」

「例年の学習発表会は、小学生とは思えないくらい難しい曲を上手に演奏していたのに、今年は教科書レベルでがっかりでした。」

同じ演技・演奏の感想も保護者の見方によって大きく違ってきます。また、感想を聞く子ども・教職員の受け止め方も大きく変わってきます。学校行事（運動会・学習発表会）のねらいは、子ども一人一人が主体的に友達と協力しながら演技を作り上げ、成果を発表することです。各学年の担任は、子どもたちにできるだけ楽しく充実感をもって練習に取り組んで欲しいと願っています。

以前の学校では、前述のような見栄え重視の保護者の感想を聞くと、どうしても見栄えを優先してしまうことがありました。また、10分間の演奏のため数十時間の授業時間を発表会の練習に使ってしまうこともありました。追加の数十時間は、教科の学習時間を使うこととなります。

あえて言うと平成までは、学校行事に何十時間を使ってもなんとか指導内容を終えることは可能でした。が、令和になって始まった新学習指導要領では、高学年の英語や一人一台のパソコンを使いこなすGIGAスクール構想も学習内容に含まれるようになりました。数十時間の学習時間を行事に使うと教科の学習内容が終えられないのが現実です。

もちろん、担任も子どもたちも学年全体で少しでもいい演技やいい演奏をすることも大きな目標にしています。ただ、時間には限りがあることとさらに大切なねらいがあることも理解していただければと思います。

学校行事（運動会・学習発表会）では、全体の演技・演奏の見栄えだけでなく、子どもたち一人一人の「表情」「友達との協力」「1年間の成長」をぜひ、見てください。

